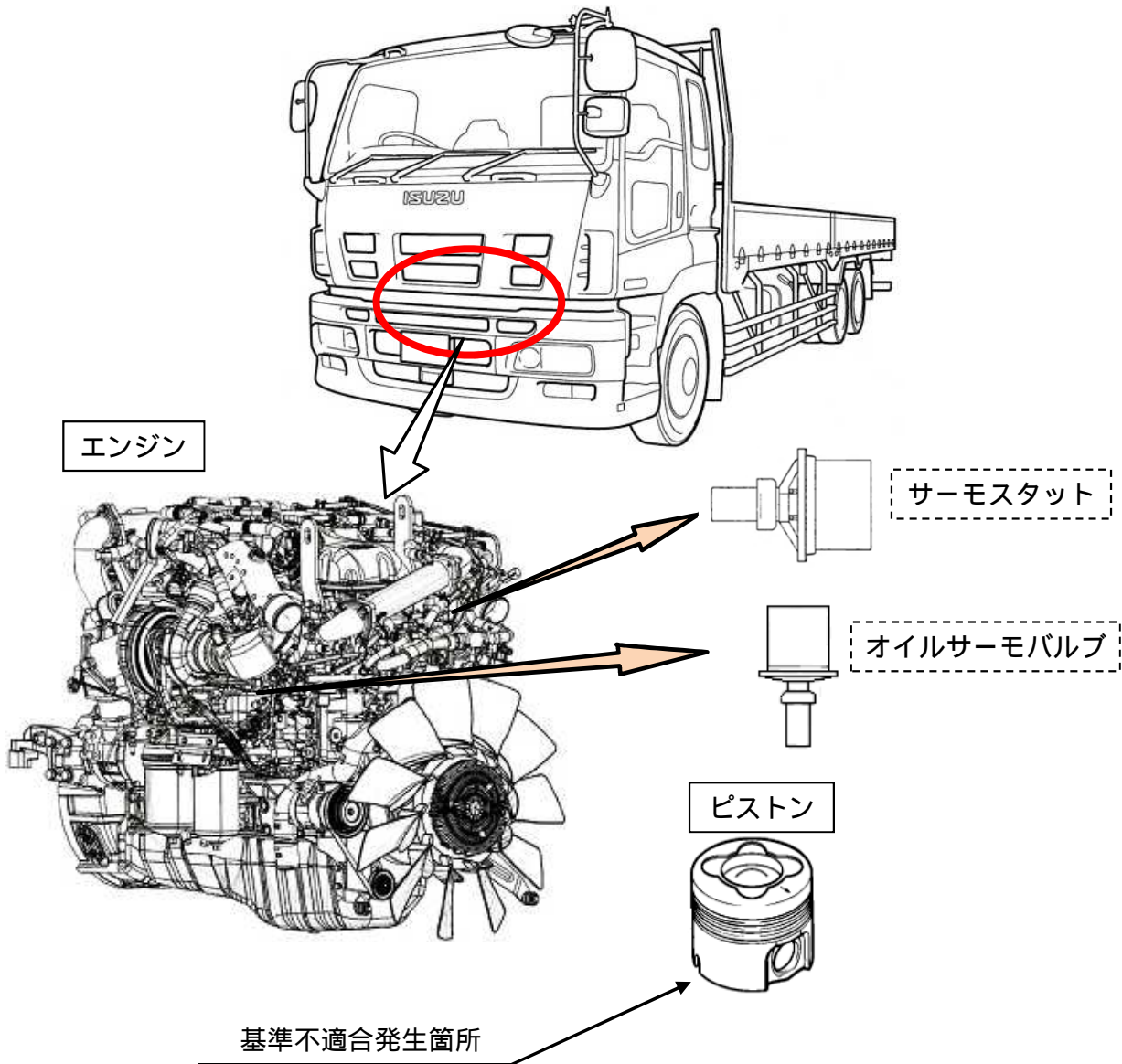


## 改善箇所説明図



大型トラック用エンジンにおいて、オイルサーモバルブの開弁温度設定が不適切なため、ピストンの温度が高くなり、ピストンに過大な負荷がかかり、亀裂が生じるものがある。そのため、そのまま使用を続けると亀裂が進行し、ピストンに穴が開き、エンジン出力の低下及び白煙を排出し、最悪の場合、走行不能に至るおそれがある。

### 改善の内容：

全車両、車両走行データを確認し、負荷及びその頻度の高い車両はピストンを点検し、亀裂のあるものはエンジンを良品に交換する。また、ブローパイガス流量を点検し、流量が多いものはエンジンを良品に交換する。  
平成17年排出ガス規制対応車両については、サーモスタット、オイルサーモバルブを対策品に交換する。

識別：サーモスタットハウジングにピンク色の識別ペイントを塗布する。

注：□ は全車両、措置する部品を示す。□□□□ は の車両で、措置する部品を示す。